こっこ☆れぽ

3年目看護師対象必須研修
原子力災害医療基礎研修報告書

3年目の看護師対象に『原子力災害医療基礎研修』を開催しました。

■日程：2023年6月5日･11月13日（同日同じ内容）■時間：12:30～17:00 ■参加者：29名

目的

原子力災害医療に関連する放射線の
基礎知識を習得できる

目標

原子力防災体制、放射線の基礎、影響、防護、汚染検査、除染、
安定ヨウ素剤、避難退域時検査、避難と屋内退避について理解する

九州は佐賀県と鹿児島県に原子力発電所があります。

Q なんでこの研修の受講が必要なのですか？

A **長崎大学病院は高度被ばく医療支援センター･原子力災害医療総合支援センターに指定されています。**被ばく･汚染した患者さんを受け入れる役割があります。
長崎大学病院の看護師として、被ばく･汚染した患者さんに安全に医療･看護を提供するためには放射線に対する正しい知識、原子力災害医療の基礎知識が必要です。
今年度より3年目対象の必須研修とし、原子力災害時に対応できる人材育成を行うために本研修が導入されました。

Q どんな研修内容ですか？

A 原子力防災体制、放射線の基礎知識、放射線の健康影響、原子力災害時の基礎知識を講義で学びます

原子力災害時の患者受け入れ時にとても役立つ研修です。

【講義内容】
1. 原子力災害防災体制
2. 放射線の基礎
3. 放射線の影響
4. 放射線防護
5. 汚染検査･除染
6. 安定ヨウ素剤
7. 避難退域時検査
8. 避難と屋内避難時の支援

Q 原子力災害医療に関する研修は他にもありますか？

A 長崎大学が主催している｢原子力災害医療中核人材研修｣があります。
この｢原子力災害基礎研修｣受けたみなさんは受講ができます。下のリンクからHPで確認し、ぜひステップアップを目指してください
また、院内研修のラダー別研修｢原子力災害医療における看護｣もあります。

https://www.gensai.nagasaki-u.ac.jp/training/chukaku/

アンケートより参加者の感想

- 医療者として災害時の対策を行っていきたい。
- 被ばくした患者さんと関わることを想定したことがなかったので看護師としての役割を改めて知ることができました。
- 知らない知識を学ぶことができた。
- 放射線防護や放射線の影響を学ぶことができた。

参加者の皆さま、お疲れさまでした!!ぜひ、次のステップの中核人材研修にもチャレンジしてください。

作成者　看護キャリア支援室　鵜瀬葉月・柴田久美